

京都府立医科大学 学内仮想基盤更改に係る 情報提供依頼書（RFI）

1. 目的

令和4年1月から利用している本学仮想基盤について、機器及びソフトウェアの保守期限到来に伴い更改を予定している。本 RFI は、今後の調達仕様書及び予算検討の資料とするため、最新の技術動向、製品情報、導入事例、概算費用及び運用保守に関する情報を広く収集することを目的とする。

2. 受付期間

受付期間：令和8年7月29日（水）～令和8年8月26日（水）午後5時まで

3. 対象システム等

- (1) 仮想化サーバ
- (2) 共有ストレージ
- (3) 仮想化管理兼バックアップサーバ
- (4) SSL-VPN 装置
- (5) 無停電電源装置（UPS）
- (6) 運用保守(6年間)

4. 現行環境概要

資料1「現行環境概要資料」のとおり

5. 情報提供依頼事項

令和10年1月から次期環境稼働開始のスケジュールに納入できる見込みである機器で、全体費用を抑えながら次期環境へスムーズに移行するために以下の事項について情報提供を依頼する。

	項目	説明
1	企業概要・実績	会社概要、自治体等での仮想化基盤移行及び保守管理の運用実績とその概要等を示すこと。

2	推奨する次期仮想基盤等の構成	情報提供される次期仮想基盤等について以下の考えを示すこと。複数案の提示も可とする。 また、他製品と比較した際のメリット・デメリットと選定理由を示すこと。 〔仮想化製品（VMware、Nutanix AHV、Hyper-V 等） 構成方式（3Tier 構成、HCI 構成等） 採用理由〕
3	製品の情報	情報提供されるハードウェア・ソフトウェア等についての基本情報を示すこと。なお、令和 10 年 1 月から 6 年間の機器のリースを行う予定とする。
4	移行・切替え方針	新基盤への移行について、業務影響を最小化するための移行・切替え・検証の考え方を示すこと。（V2V、停止時間、移行ツール等）
5	将来拡張性	導入後の運用期間中におけるリソースの拡張（サーバ・メモリ・ストレージの追加）の実現可否及びソフトウェアの更新（バージョンアップ／パッチ適用）の留意点や業務影響を示すこと。
6	基本要件 導入・保守・運用 要件（役務） 概算費用	資料 2 を要件として調達する予定である。 これを最低限の仕様とし、以下の分類をした必要な全ての費用を示すこと。導入機器のリース期間終了後の機器の撤去作業も含む。費用は税込みで記載すること。 〔初期費用（構築費、移行費、設計書や手順書の納品等） ハードウェア・ソフトウェア賃借費用（72 箇月分） 運用保守費用（72 箇月分）〕
7	スケジュール	令和 10 年 1 月から稼働開始する予定として、設計、構築、移行、稼働開始までの全体スケジュールを示すこと。なお、稼働後 6 年間の運用保守及び機器のリースを行う予定とする。
8	その他	上記以外に、本学に有益と考えられる情報があれば情報提供すること。

6. 特に確認したい事項

今回の更改にあたり、現在 VMware 製品を用いた仮想化基盤を運用しているが、近年のライセンス体系変更に伴うコストの増大が大きな課題となっており、他社製品への移行を検討している。そのため、情報提供にあたり、費用の削減効果、VMware 環境から情報提供環境への移行方式（移行実績やツール、手順など）、移行後の運用の変化（操作性や機能の違い）について、具体的に示すこと。

7. 資料 1 及び資料 2 の取扱い

資料 1 及び資料 2 については、本学情報システムに関する詳細な情報を含むため、セキュリティ確保の観点からホームページでの公開は行わない。当該資料を必要とする事業者等は、本 RFI への参加意思を表明したうえで、本学担当部署から手交で提供を受け

るものとする。また、提供を受けた資料については、以下の事項を遵守すること。

- (1) 本 RFI への回答作成以外の目的で利用しないこと。
- (2) 本学の承諾なく第三者へ開示、貸与又は提供しないこと。
- (3) 本学の承諾なく複製、転載又は公表しないこと。
- (4) 本 RFI 終了後は速やかに返却すること。
- (5) 事業者等内においても、本 RFI 回答作成に必要な範囲に限り利用すること。

8. 納品物

「Microsoft Word 2019」「Microsoft Excel 2019」「Microsoft Power Point 2019」で読み込み可能なファイル形式で日本語により作成の上、提出すること（カタログ等を添付する場合は、pdf 形式による提出も可）。同一事業者等が複数の情報提供を行うことは差し支えないものとする（情報提供数の上限は定めない）。

- (1) 提出期限：令和 8 年 8 月 26 日（水）午後 5 時まで
- (2) 提出物：会社概要・実績資料、情報提供資料、機器明細資料、経費積算表
- (3) 提出部数：各 1 部
- (4) 提出方法：メールまたは郵送

※メールの場合は件名を「学内情報系基盤更改に係る RFI の提出」とし、メール送信後、担当者まで電話連絡すること。

9. 本 RFI に関する質問

本 RFI に質問がある場合は、以下の手順により行うこと。

質問期限：令和 8 年 8 月 5 日（水）午後 5 時まで

質問方法：別添の質問票に記載し、下記 10 に記載する電子メールに問い合わせること。件名は「学内情報系基盤更改に係る RFI に関する質問」とすること。なお、郵送による問い合わせは不可とする。

回答方法：質問及び回答の内容については、京都府立医科大学ホームページに、令和 8 年 8 月 12 日（水）午後 5 時までに掲載する。

10. 連絡先

- (1) 郵便番号：〒602-8566
- (2) 住所：京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 465
- (3) 担当部署：京都府立医科大学企画課 DX 推進係
- (4) 担当者：辻河、三宅
- (5) 電話：075-251-5254
- (6) メール：joho@koto.kpu-m.ac.jp

11. その他

- ・ 本 RFI について、今後の調達実施の有無、調達を実施した場合における契約に対する意図や意味を持つものではありません。また、本件への参加の有無は、今後の業者選定とは一切関係ありません。
- ・ どのような情報提供を受けたとしても、それをもって将来の導入を約束するものではありません。
- ・ 情報提供いただいた事業者等に対して、資料等の内容等について照会又は追加の資料提供を依頼する場合があります。
- ・ 本 RFI の提出資料作成のために要する費用は、全て事業者等の負担とします。
- ・ 提出いただいた資料等は返却いたしません。
- ・ 提供いただいた資料等は当該目的以外には使用いたしません。また、許可なく本学以外の外部へ提供することはありません。ただし、今後の調達仕様書に反映する場合があります。